臨床研究に関する情報公開

日本赤十字社医療センター泌尿器科では、当院倫理委員会の承認を経て、下記の臨床研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 28 年 10 月　日本赤十字社医療センター
木下善隆

【研究課題名】

血液透析用内シャントの早期閉塞に対する形質細胞腫瘍の影響の検討

【研究の意義・目的】

現在、血液透析における血管アクセスの第一選択は橈側皮静脈と橈骨動脈を吻合する内シャントですが、一定の確率で術後早期の閉塞が起こるのが問題となり、閉塞のリスクを含めた患者背景を十分に踏まえた術式の検討を行うことが重要です。従来より内シャントの早期閉塞や長期的な開存率の低下に寄与する因子として、年齢、性別、人種、糖尿病の有無、末梢血管疾患の有無、虚血性心疾患の有無が指摘されておりました。今回はこれらに加え多発性骨髄腫やアミロイドーシスといった形質細胞腫瘍の有無が内シャントの早期閉塞のリスクファクターとなりうるかを検討する研究です。

【研究の方法・期間】

2014 年 4 月~2015 年 9 月の間に手術を受けた患者さんの診療録をもとに解析します。

【研究代表者】

研究責任者：日本赤十字社医療センター　泌尿器科　木下善隆

研究分担者：同泌尿器科　南哲司、杉原亨、山田幸央、石川晃

【研究者が保有する個人情報について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。本研究の実施過程およびその結果の公表(学会や論文等)の際には患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

【本研究に関する問い合わせ窓口】

日本赤十字社医療センター泌尿器科
〒150-8935　東京都渋谷区広尾 4-1-22
電話：03-3400-1311(代表)
担当者：木下善隆(きのしたよしたか)